

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月7日

【四半期会計期間】 第45期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 ファナック株式会社

【英訳名】 FANUC CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 稲葉 善治

【本店の所在の場所】 山梨県南都留郡忍野村忍草字古馬場3580番地

【電話番号】 0555-84-5555

【事務連絡者氏名】 経理部長 金予 鳴、法務部長 小林 泰介

【最寄りの連絡場所】 山梨県南都留郡忍野村忍草字古馬場3580番地

【電話番号】 0555-84-5555

【事務連絡者氏名】 経理部長 金予 鳴、法務部長 小林 泰介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		平成24年 第1四半期 連結累計期間	平成25年 第1四半期 連結累計期間	平成24年度
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	137,832	106,392	498,395
経常利益	(百万円)	55,497	36,388	191,242
四半期(当期)純利益	(百万円)	35,210	22,713	120,484
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	24,181	33,801	148,687
純資産額	(百万円)	989,930	1,111,636	1,094,129
総資産額	(百万円)	1,104,421	1,219,553	1,219,113
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	179.89	116.05	615.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	89.3	90.7	89.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社のうち、FANUC Robotics America CorporationおよびFANUC FA America Corporationが平成25年5月1日付で合併し、FANUC America Corporationになりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、IT産業の需要減の影響が続くなど予断を許さない状況とはいえ、米州のロボット需要が活発なことや、中国市場等でやや持ち直しの動きがあるなど、改善の兆しがみられるようになりました。

このような中、当社では引き続き商品の知能化、超精密化、および製造のロボット化を推し進め、競争力のさらなる強化に努めております。

当第1四半期連結累計期間における連結売上高は1,063億92百万円（前年同期比22.8%減）、連結経常利益は363億88百万円（前年同期比34.4%減）、連結四半期純利益は227億13百万円（前年同期比35.5%減）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が548億93百万円（前年同期比5.2%減）、ロボット部門が362億77百万円（前年同期比19.6%増）、ロボマシン部門が152億22百万円（前年同期比69.3%減）でした。

(2) 財政状態

資産合計は、前年度末比4億40百万円減の1兆2,195億53百万円となりました。主な増加は現金及び預金が58億95百万円、主な減少は受取手形及び売掛金が38億36百万円となっております。

また、負債合計は、前年度末比170億67百万円減の1,079億17百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比175億7百万円増の1兆1,116億36百万円となりました。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は44億円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	239,508,317	239,508,317	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株
計	239,508,317	239,508,317		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	239,508,317	-	69,014	-	96,057

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、該当事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 43,812,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 194,725,600	1,947,256	
単元未満株式	普通株式 969,917		
発行済株式総数	239,508,317		
総株主の議決権		1,947,256	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ファナック株式会社	山梨県南都留郡忍野村忍草 字古馬場3580番地	43,796,600		43,796,600	18.29
(相互保有株式) ファナックマグトロニクス 株式会社	神奈川県座間市東原4丁目 2番2号	16,200		16,200	0.01
計		43,812,800		43,812,800	18.30

(注) 株主名簿上当社名義となっている株式のうち、当社が実質的に所有していない株式はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727,753	733,648
受取手形及び売掛金	81,318	77,482
商品及び製品	37,053	38,603
仕掛品	27,724	27,571
原材料及び貯蔵品	7,407	6,806
繰延税金資産	19,035	17,643
その他	7,778	6,256
貸倒引当金	1,628	1,570
流動資産合計	906,440	906,439
固定資産		
有形固定資産		
土地	116,452	116,735
その他(純額)	148,369	148,819
有形固定資産合計	264,821	265,554
無形固定資産		
投資その他の資産	8,747	7,789
投資有価証券	31,779	33,534
その他	7,327	6,238
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	39,105	39,771
固定資産合計	312,673	313,114
資産合計	1,219,113	1,219,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,044	24,222
未払法人税等	30,637	12,072
アフターサービス引当金	4,937	5,284
その他	35,355	33,906
流動負債合計	92,973	75,484
固定負債		
退職給付引当金	28,172	28,630
その他	3,839	3,803
固定負債合計	32,011	32,433
負債合計	124,984	107,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,268	96,268
利益剰余金	1,261,572	1,268,229
自己株式	311,636	311,723
株主資本合計	1,115,218	1,121,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,941	3,681
為替換算調整勘定	28,899	18,765
その他の包括利益累計額合計	25,958	15,084
少数株主持分	4,869	4,932
純資産合計	1,094,129	1,111,636
負債純資産合計	1,219,113	1,219,553

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	137,832	106,392
売上原価	69,351	57,348
売上総利益	68,481	49,044
販売費及び一般管理費	14,343	14,400
営業利益	54,138	34,644
営業外収益		
受取利息	488	553
受取配当金	133	159
持分法による投資利益	773	904
雑収入	455	526
営業外収益合計	1,849	2,142
営業外費用		
寄付金	0	282
為替差損	345	-
雑支出	145	116
営業外費用合計	490	398
経常利益	55,497	36,388
税金等調整前四半期純利益	55,497	36,388
法人税、住民税及び事業税	18,366	11,069
法人税等調整額	1,779	2,451
法人税等合計	20,145	13,520
少数株主損益調整前四半期純利益	35,352	22,868
少数株主利益	142	155
四半期純利益	35,210	22,713

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,352	22,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	584	739
為替換算調整勘定	11,480	8,208
持分法適用会社に対する持分相当額	893	1,986
その他の包括利益合計	11,171	10,933
四半期包括利益	24,181	33,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,198	33,586
少数株主に係る四半期包括利益	17	215

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
1 保証債務は、従業員住宅ローンに対する債務保証で132百万円であります。	1 保証債務は、従業員住宅ローンに対する債務保証で122百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	4,067百万円	4,148百万円
のれんの償却額	1,110百万円	1,211百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	19,379	99.01	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	16,056	82.04	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション(F A)の総合的なサプライヤーとして、自動化による生産システムに使用されるCNCシステムとCNCシステムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	179円89銭	116円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	35,210	22,713
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	35,210	22,713
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,727	195,708

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月7日

ファナック株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 百 井 俊 次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 腰 原 茂 弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 藤 勇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているファナック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ファナック株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。